

下権現堂山山行記録



雪割れ尾根

山頂から上権現と毛猛山塊

山頂を振り返る

目的地	下権現堂山	期 日	平成22年2月24日 (水)・快晴
山人	笠原正雄単独	特 記	4年前、途中で引き返した山。

地 点 名	時 刻	記 事
与 板 発	午前 8:15	堀ノ内まで高速利用。朝食はしっかり食べたが、行動食を持たなかったため、途中、川口 SA でカケツバを食べる。
旧 アクシオム スキーゲレンデ	10:00 発	旧スキー場の駐車場はあるらしいが、除雪されていない。ログハウス風の「みんなのおうち」の空きスペースに駐車させてもらう。
ゲレンデを登る		雪に上がりスノーシューを履く。立ち止まって、雪の上を凍み渡りしていた老人としばし会話する。第2リフトを目指して登る。雪は程よい固さでスノーシューの鋸が良く利く。誰も居ないだろうと思っていたところ、上部の資材運搬道に人影が上っていた。1箇所、斜面段差の雪が割れていたため、避けて廻り込む。ゲレンデは結構な傾斜で、好天と相俟って既に大汗をかく。
第2リフト終点 尾根に上がる	10:40~10:45	壺足で地元男が立っていた。よく来るらしい。この台地を地元では「コボッコ」そして、もう一つ上の台地を「オボッコ」と呼ぶと聞く。背中のリュックにカンジキを持っているという。上まで一緒にと誘ったが、歳相応だからとふられた。
三 角 点 643.9 最終リフト終点	11:15	ゲレンデとしては中級者以上のコースと思われる。スキーシュプールとカンジキ跡がある。直登に耐えかねて、九十九折れのスキー跡を登る。ここが「オボッコ」だろう。山頂が見える。旧広神村も良く見下ろせる。ここから林間を少し下って登る。
標 高 点 674	11:40	4年前はこの辺りで灌木の上に乗っている雪を2~3度踏み抜き、嫌気が差し気力を失い、引き返した。
雪 割 れ 尾 根	11:45	それ程痩せているわけではないが、所々地面が覗ける。崩さないように場所を選びながら雪の上を進む。過ぎれば再び林間登りとなり、幾分薄くなりかけているが、カンジキもしくはスノーシューの踏み跡がある。まばらだが、枝にピンクテープのマーキングもあった。だんだん急登となる。
下権現堂山山頂	12:15 着	平らになって少し進んで一番高い所に来る。戸隠神社からと思われるトレースが残っていた。目の前に上権現、奥に毛猛、浅草岳、守門岳と広がる。荒沢岳とその奥の山、三山、巻機山等が見えるが、逆光とモヤで眠い景色だ。ピッケルで段差を造り、雨具上衣を着て三山方向を眺めながらオイナリさんを食べる。日差しは暖かだが、汗をかいた背中だけが冷える。雨具を脱いだら冷たかった背中が陽を受けて温くなった。始めから着なければ良かったのだ。
下 山 へ	午後 1:00 発	三山が順光になるのを期待したが、待っていれば遅くなる。守門岳を撮って下山。雪がすっかり腐って来た。トレースを外れて下るほうが楽である。急斜面の下りはスノーシューよりカンジキの方が楽なのではないだろうか。
2 度 穴 に 落 ち る	1:15	雪割れ尾根に差し掛かり、上りと同じ所を進めば良いものを、別の所を行ったら、灌木の上に乗った雪を踏んで腹までおちいった。
最終リフト終点	1:35	鞍部から登り返す。ゲレンデ下りへ。朝と変わって雪が重かった。
駐車地点に戻る	2:00	一人で居た「みんなのおうち」の女性に駐車の手を述べ、「神湯とふれあいの里」で入浴 (600円)。一般道で帰宅。

降雪日が多く、なかなかお天気の日が少ない年である。しかし、この週になってお天気が続き、急速に暖かくなった。そして、この日の予報は全く心配の無い終日快晴だった。

朝起きる迄、どこの山にしようかと迷った挙句、宿題となっていたこの山に行くことにした。3日前に米山に行っているし、3日後にも天気次第だが計画があるので、長い山は回避した。しかしながら、トレースも無いかも知れない、そして誰も居ないことが予想される山へ向かうにはやはり多少のためらいがある。従って山の決定が遅れた。